

MASTER



創世記を読む

初めに、神が天と地を創造した。

創世記 1 章 1 節

目次

1	アダムとエバ 2章 15～17節、3章 1～13節	4
2	アブラムの召命 12章 1～9節	6
3	神のすばらしい約束と厳しい裁き 18章 1～33節	8
4	アブラハムの試練 22章 1～14節	10
5	イサクとリベカの結婚 24章 1～67節	12
6	ヤコブのひとり旅 28章 1～5節、10～22節	14
7	ヤコブの結婚 29章 15～35節	16
8	ヤコブの格闘 32章 3～32節	18
9	ヨセフとともにおられる主 39章	20
10	ヨセフと兄たちの和解 42章 1～25節、45章 1～8節	22

はじめに

「MASTER」とは、「主人」という意味です。このテキストでは創世記の人物の歩みを追っていきます。出てくる人物は変わっていきますが、その主人はいつも神であり、服従の生活を送っていくことが求められている、ということから、このタイトルをつけました。登場してくる人物の必ずしも従順と言えないような歩みであっても、それにまさる神の豊かなあわれみが注がれている、ということを実感することができればと願っています。

この聖書研究テキストは、山梨大学の聖書研究会 CSC (Christian Student Crusade) に集う学生が、2003年に作ったものがベースになっています。それを現在の山梨大学の学生と関東地区主事会が協力してリメイクしました。今後も、各学校で作られている聖書研究テキストが全国のKGKの共有財産となり、他の学校に広く用いられていくことを期待しています。

このテキストを用いるみなさんが、新たに主なる神と出会うことができますように。

1

アダムとエバ

創世記 2 章 15 ～ 17 節、
3 章 1 ～ 13 節

創世記では、神が天地万物をお造りになり、地のすべてのものを支配させるものとして人をお造りになったと書かれています。また神は、アダムの助け手としてエバを造られました。この課では、アダムとエバを取り上げ、2人が神との約束にどう向き合ったかについて見ていきたいと思います。

1. 2章9節、15～17節を見ましょう。神が園に善悪を知る知識の実を置いたことは、どのような意味をもったのでしょうか。
2. 3章1節で蛇は狡猾なものとして描かれています。蛇はエバを誘惑するため、どのような手段を使いましたか。
3. 2～3節でエバが蛇に答えた内容を、2章16～17節と比較してみましょう。どうしてこのような違いが生まれたのだと思いますか。

4. なぜアダムも食べてはいけない実を食べてしまったのでしょうか。
(6 節)

5. 7 節から 13 節までを読みましょう。二人がとった行動から、罪によって人間にどのようなことがもたらされましたか。

6. 人と神との関係は、神が呼びかけてくださることによって始まります。アダムはどのような態度によって、神との関係を壊しているのでしょうか。(9 節)

7. 私たちは神のことばを正しく受け取る必要があります。そのために、私たちはどのようなことができるでしょうか。

2

アブラムの召命

創世記 12 章 1～9 節

神はアブラハムを選び、アブラハムに多くの子孫を与える約束をし、イスラエル民族を神に選ばれた民としました。しかし、11 章 30 節を見るとサラは不妊の女で、2 人には子どもがいなかったことがわかります。後の 17 章でアブラハムと名前が変わりますが、今はアブラムと呼ばれています。

1. 「生まれ故郷」や「父の家」を出るとはどのような意味をもつでしょうか。(1 節)
2. 2～3 節で、神はアブラムにどんなことを約束して下さいましたか。それを聞いたアブラムはどのように思ったのでしょうか。
3. 4 節を見ましょう。アブラムはどうして出かけることにしたのでしょうか。

3

神のすばらしい約束と

厳しい裁き

創世記 18 章 1 ～ 33 節

アブラハムが 99 歳のある日、主はアブラハムが住んでいるところに、旅人の姿で現れました。当時、旅人をもてなすことは、一般的に行われていたことで、新約聖書にも勧められています（ヘブル 13 章 2 節 / I ペテロ 4 章 9 節）。アブラハムがこの 3 人の旅人をもてなすことを通して、精神的に激しい一日を体験することになります。

1. 真昼の暑い時にアブラハムのところに来た 3 人を、アブラハムがどのようにもてなしましたか。（1 ～ 8 節）
2. アブラハムが 9 節のことばを聞いたときに、どのようなことを考えたとおもいますか。
3. サラは神の力を疑いました。（12 節）私たち人間は、なぜ時に神の力を疑うのでしょうか。

4. 神は自分がしようとするのを、なぜアブラムに伝えたのでしょうか。(17～19節)

5. アブラムが神のすばらしい約束をいただいた直後、心が騒ぐようなことばを聞きました。(20～22節) アブラムの気懸かりと心の葛藤が、23～25節にどのように記されていますか。

6. ソドムとゴモラの町にアブラムの親戚が住んでいました。アブラムの真剣なとりなしの祈りについて、あなたはどのようなことを考えさせられますか。

7. アブラムに息子の誕生(新しい命)の約束と、罪からくる死の裁きを宣言されました。このことを通して、神はどのような方だとわかりますか。

4

アブラハムの試練

創世記 22 章 1 ～ 14 節

神が約束された通り、アブラハムが 100 歳の時に妻サラがイサクを産み、大事な後継ぎがようやく与えられました。その後イサクが成長し、「イサクから出る子孫を祝福する」という神様の約束が実現していくと思われたある時、神はアブラハムを試練に合わせられます。この時イサクは 18 ～ 20 歳になっていたと思われます。

1. 2 節の神のことばを聞いた時、アブラハムはどのようなことを思い巡らしたでしょうか。
2. アブラハムは出かけていきます。アブラハムのこのすばやい行動はどのようなことを表していますか。(3 ～ 4 節)
3. 7 ～ 8 節のイサクの質問に対するアブラハムの答えは、神に対する彼の態度をどのようにあらわしているのでしょうか。ヘブル 11 章 17 ～ 19 節を参照しましょう。

4. アブラハムとイサクは、どのような思いでいたでしょうか。(9～10 節)

5. 「神を恐れる (畏れる)」ことと、イサクをささげることは、どのような関係がありますか。(12 節)

6. アブラハムは主がどのようなお方だと知ったのでしょうか。(14 節)

7. アブラハムは、徹底的に神のことばを信じ従うことを教えられました。彼の服従によって、全世界はどのような影響を受けましたか。

8. このアブラハムの信仰と行動から何を学ぶことができますか。

5

イサクとリベカの結婚

創世記 24 章 1 ～ 67 節

今の私たちは「本人同士が好き合っているのなら」という言葉をよく耳にします。今回の箇所のイサクとリベカは結婚の相手の選択を第三者に任せるといふ委任結婚でした。ここから神様が祝福される結婚とはどういうものかを考えていきたいと思ひます。

1. あなたはどのような形で結婚したい、もしくはしたくないと考えていますか？
2. 3～4 節で、アブラハムはイサクの結婚相手に、故郷の出身でカナンの地に来てくれる人、という条件をつけました。それはなぜでしょうか。7 節を参照しつつ考えてみましょう。
3. 13～14 節、しもべはイサクの妻を見つけるために、なぜこのような方法を取ったのでしょうか。

4. 26～27節で、しもべはどのような気持ちだったでしょうか。

5. 50節以降、リベカの家族はリベカの結婚についてどのような反応を示しましたか。

6. この結婚に関して、アブラハム、しもべ、イサク、リベカは、それぞれどのような選択をしたでしょうか？また、これらのことから主はどのような方であることがわかりますか。

7. あなたは、自分の結婚のためにどのように備えておくべきだと思いますか。

6

ヤコブのひとり旅

創世記 28 章 1～5 節、10～22 節

イサクに 2 人の男の子、エサウとヤコブが生まれました。長男のエサウは神からの祝福を受ける長子の特権を持っていましたが、ヤコブにその特権を売ってしまいます。その後ヤコブは父をだまし、イサクから祝福を受けます。祝福を持っていかれたエサウは、怒りのあまりヤコブを殺そうとしました。ヤコブの波乱万丈の人生が始まっていきます。あなたはこれまで心細い経験をしたことがありますか？ 自由に話し合ってみましょう。

1. 1～4 節でイサクがヤコブに命じたのはどのようなことだったでしょうか。またそれはなぜでしょうか。(27 章 46 節参照)
2. 複雑な状況を引き起こして故郷を離れ、旅をすることになったヤコブの心境はどのようなものだったと思いますか。(5 節)
3. 13～15 節、ヤコブが見た夢で与えられた約束はどんな意味を持ちますか？

4. 16～19節の「神の家」とは、神にお会いする場所という意味を含みます。ヤコブの18節の行動から、彼のどのような姿勢が読み取れますか。

5. 20～22節で、ヤコブはどのようなことを約束しているでしょうか。

6. あなたのこれまでの歩みの中で、主がともにいてくださると実感したときがありますか。あなたはこのような神の祝福にどのように応答していきたいと思えますか。

7

ヤコブの結婚

創世記 29 章 15 ～ 35 節

父イサクと兄エサウをだまし、命の危機にさらされたヤコブは、家族のもとを離れ叔父ラバンのもとに向かいました。旅が無事に守られてラバンのもとに到着したヤコブは、そこでレアとラケルに出会います。到着してから1カ月たった時、ラバンは良く働くヤコブに対し、どういう報酬が欲しいかとたずねます。

1. ヤコブのレアとラケルに対する思いはそれぞれどのようなものだったか。
2. 25 節で衝撃的な事態が発覚します。その時の心の状況はどのようなものでしょうか。彼は何を思い出したのでしょうか。
3. ラバンはなぜレアを先に嫁がせたのでしょうか。
4. 神はヤコブになぜこの試練を許したのだと思いますか。

5. レアとラケルに注目しましょう。

a. レアの子供に付ける名前から、レアがどのようなことを望んでいたことがわかりますか。

b. ラケルはどのようなことを望んでいたのでしょうか。(参照 30 章 1～8 節)

6. 私たちには自分の願いとは違ったものが与えられることがあります。その時私たちはどの様に対応すべきでしょうか。

8

ヤコブの格闘

創世記 32 章 3 ～ 32 節

神は、ラバンのもとで働いていたヤコブの家畜を増やし、多くの財産を持つようになさいました。その後、神は 31 章 3 節でヤコブに先祖の国に帰るように語り掛けられます。ラバンと和解を果たし、彼のもとを離れたヤコブは、かつてだました兄エサウの住む故郷に、多くの財産と家族とともに帰っていきます。

1. エサウを恐れていたヤコブは、エサウとの再会を前に以下のことをしました。それはどうしてでしょうか。それぞれどのようなねらいをもっていたのかを考えてみましょう。
 - a. エサウに使者を送る (3 ～ 6 節)
 - b. 宿営を二組に分ける (7 ～ 8 節)
 - c. 祈る (9 ～ 12 節)
 - d. 贈り物を先に行かせる (13 ～ 21 節)

2. エサウに会う備えを終えたヤコブは、妻2人・女奴隷2人・子供11人にヤボクの渡しを渡らせ、ひとりだけ後に残りました。そこでどのような経験をしましたか。

3. ヤコブは主の使いとの格闘中、その手を放しませんでした。それはなぜでしょうか。(24-26節)

4. 28節で神がヤコブに新しい名を与えたことは、どのような意味を持っていますか。(ヤコブ:踵を捕まえる者。だます者。 イスラエル: 神と格闘する者。神が戦う。)

5. ヤコブの真剣な神との格闘の様子から、私たちはどのようなことを学びますか。



ヨセフとともにおられる主

創世記 39 章

ヤコブは最愛の妻ラケルの長男、ヨセフを溺愛しました。またヨセフも、兄弟の感情を逆なでするような発言をしたため、ヨセフは他の兄弟から憎まれ殺されそうになります。ルベンの助けによって命だけは助かりましたが、奴隷商人に売られ、エジプトでの辛い奴隷生活が始まります。

1. 1～6節で、ヨセフは周りの人からどのように見られていたでしょうか。また、彼の立場はどのように変わっていったでしょうか。
2. ポティファルの妻は夫をもつ身でありながら、ヨセフに「私と寝ておくれ」と迫ります。ヨセフの返事によって、彼がどのような人格であることがわかりますか。(7～9節)
3. 誘惑を受けるときに私たちはどのような態度をとる必要がありますか。また、あなたは今、どのように誘惑に対処していますか。(10～12節)

4. ポティファルの妻の行動から、欲望の恐ろしさをどのように感じますか。

5. 誘惑に打ち勝ったヨセフは、主からどのような報いを受け取っていますか。

6. 私たちは逆境の時を経験しますが、逆境の時ほど主がともにおられることを経験できることも事実です。そのような経験があれば分かち合いましょう。

10

ヨセフと兄達の和解

創世記 42 章 1～25 節、
45 章 1～8 節

ヨセフはエジプト王の夢の解き明かしを行い、エジプト全土の支配を任せられました。その解き明かしのおりに、7年の豊作の後に飢饉がひどくなり、エジプトだけでなく世界中から人々が穀物を求めに集まってきました。そして、ヨセフは穀物を買いに来た兄たちと数十年ぶりの再会をすることになります。（この学びの前に、参加者は42～45章全体を読んでおくことをお勧めします。）あなたがこれまで「人を赦した」という経験があれば、短く分かち合ってください。

1. 42章7節で、ヨセフは兄たちに自分の正体を隠していました。どのような理由があったのか話し合ってみましょう。
2. 14～20節でなぜヨセフは兄たちにベニヤミンを連れて来るように命じたのでしょうか。
3. 21～22節の兄たちの態度を見てヨセフはどのように感じたでしょうか。

MASTER 創世記を読む

初版 2010年2月20日
著者 山梨大学聖書研究会 CSC
(Christian Student Crusade)、小川真
編集者 キリスト者学生会関東地区主事会
発行者 キリスト者学生会主事会
発行所 キリスト者学生会
〒101-0062
東京都千代田区神田駿河台2-1 OCCビル3F
TEL. 03-3294-6916
FAX 03-3294-6050
e-mail office@kgkjapan.net

100円